

※学年だよりで使用されている写真や作品の SNS 等への掲載はご遠慮ください。

“修大成”の修学旅行を終えて

台風の影響が心配された修学旅行でしたが、無事に3日間の行程を終えて帰ってきました。この3日間は、色々なことがありました。運転見合わせの新幹線、腹ペコで食べた神仙境のうどん、鹿せんべいで大混乱になった奈良公園、笑いが止まらなかった薬師寺の法話、カードゲームや恋の話で盛り上がった自由時間、仲間と京都を巡った班行動、お肉の枚数で争ったすき焼き、白熱のクイズ&ビンゴレク大会、京都のことをより深く知れたタクシー行動、もう一泊したいと思った帰り新幹線……、その一つひとつに思い出がいっぱい詰まっています。また、大きなケガやトラブルなく終わられたことも本当に嬉しく思います。

そして、予想もしていなかった学年主任のサプライズ誕生日会。本当に気が付きませんでした。「涙は、卒業式までとっておく！」と強がって言いましたが、そのあと一人で全員のメッセージを読みながら、ウルウル……。 (しかし、泣いていません。) 改めて、この学年に出会えたことを心から感謝しました。

もちろん、細かいことを言えば改善点や反省はありました。しかし、学年の行事としての修学旅行は大成功だったのではないのでしょうか。それは、皆さんの帰りの新幹線の表情からも伝わってきました。「この学年でまた京都に行きたいね!」「3日間じゃ足りないよね!」という何気ない会話もとても嬉しかったです。修学旅行中にも言い続けましたが、この3日間を当たり前だと思わないでください。常に、皆さんの周りには支えてくれる人がいます。これからも感謝に気持ちを忘れずに卒業に向けて進んでください。

大人の夏休み ～A先生編～

『0歳児とのキャンプの過酷さ』

家族旅行でグランピングに行ってきました。昨年も行ったので計画的にいくぞ!と意気込んで分単位の計画を立てました。しかし、計画通りにはいかないもので、午後の野菜収穫は突然の雨で延期。あまりの暑さに、娘の食べるアイスはどんどん溶け、私の手はお皿代わりになって、ベタベタ。0歳の息子はかまってもらえないと、とりあえず泣きわめくという終始バタバタでしていました。

夜には縁日が開催され、娘は初めてラムネが飲めるとすごく喜んでいました。スーパーボールすくい、射的、綿あめを楽しみ、最後に待ちに待ったサイダーを飲んだ瞬間!「もういらない……」3歳の娘には炭酸はまだ早かったようです。それでも帰りの車では「楽しかった!!」と喜んでいたので良かったです。



作文紹介

最高で悲しい3日間

1組 生徒

私は今回、修学旅行の副実行委員長として修学旅行に参加しました。当日を迎えるまで、実行委員の仲間や先生たちと協力して準備を進めていたので、当日私は楽しみな気持ちもあったけど不安なことの方が少し多かったです。

1日目朝、私は新横浜駅で実行委員からの言葉の担当があり、緊張しながら班員と集合しました。新横浜についてから無事に仕事を終えて、新幹線に乗り京都に向かいました。初日は、台風で時間が遅れ、ご飯を食べる時間が短くなったりしたけど、奈良公園で鹿と会うときには雨が止んでいました。私達の中学校の名前に入っている！“薬師”寺というお寺で法話を聞きました。この日は移動が多くて忙しかったけど、宿についてからは班員と楽しく過ごすことができ、無事に一日目が終わりました。

そして二日目になり、班行動で朝から東寺や金閣寺に行きました。想像していたよりも何倍も輝いていて、これを私達と同じ人間が作ったと思うとよりすごさが増しました。そして京都駅でお昼ご飯を食べた後、組紐作りを体験しました。映画にも登場していた組紐を色から選んで作ることができ、とても貴重な体験ができました。（後にこれが事件の原因に…）決められた係以外の人とも協力し、班員全員で行動することができました。宿に戻り、1日目にはなかったレクがある日。全員疲れているはずなのに一人ひとりが本気になってレクに参加し、宮崎先生へのサプライズも成功し、放課後に残って準備してよかったと思えた一日でした。

そして事件が起きる3日目。朝からタクシーで移動する日。最初は伏見稻荷神社に行き、ドライバーさんから『おもかる石』についての説明を聞きました。一番衝撃だったのは、千本鳥居は千本ないということでした。班員だけでなくドライバーさんの説明付きで回る寺社仏閣は、より詳しく知れるので一箇所一箇所回るのがとても楽しかったです。その後、清水寺に行きました。清水寺は土台となる部分に釘が使われていなくて木だけで作られており、それで長年壊れずに残っていることに驚きました。そして、タクシー行動が終わった後に事件が起きます。右手に付けていたはずの組紐がなくなりました。時間も時間でドライバーさんに言うこともできず、どうすることもできませんでした。でも、私はこの事件をきっかけに思ったことがあります。沢山のの人に感謝したいということです。もちろん、3日間が終わる前から先生の話で感謝をする、ということは意識していたけど組紐をなくしたことで過去を振り返るきっかけができ、沢山の人達に支えられて終えられた3日間だったと気付けたのです。正直、なくしたことはとても悲しかったし、今すぐにでも探しに行きたいけど、最後まで気を使ってくれる班員、今日まで一緒に準備してきた実行委員や先生、そしてタクシーの運転手さんなど一人ではできないことがたくさんあったとこの3日間で学ぶことができました。私はこの3日間でより感謝する場面が身近にあることを知り、今後の学校生活では「感謝」することに後悔が残らないように生活していきたいです。そして最後に先生、実行委員会で放課後遅くまで残ってくれた仲間たち、本当にありがとうございました！

